

助け合い 起こし すざか



**「海に行きたいなあ」
いきいき外出事業で、
そんな希望が
かないました**



写真：うみてらす名立にて(上越市)

P2~P3 ・助けられ大賞大募集

P4 ・一日赤十字報告
・災害ボランティア講座紹介
・各種募金の御礼

P5 ・認知症なんて怖くない！

恒例のいきいき外出事業では、本年度初めて、利用者さんから希望の多い、海へ行ってきました。外出支援グループ「あしの会」の皆さんと個人ボランティアさんのご協力です。7月16日は梅雨も明け、水平線もくっきり見えました。食事やお買い物もされ、参加者の皆さんも大満足の笑顔でした。

2010 **8**



社協は社会福祉法第109条に規定された地域福祉を推進する団体です。
社協が実施する様々な福祉事業は、皆さまからの社協会費と共同募金が主な財源です。

再生紙を利用しています。

助けられ大賞 大募集



昨年の応募数

市内	8件
県内	2件
県外	2件

“助けて”と言ってみよう！！

須坂市では、人と人とのつながりを見直す「助け合い起こし」の活動を進めています。
その活動の中で、助け合いの始まるきっかけは、“助けられる”体験をすることだとわかってきました。

助けられた体験をした人の周りから、どんどん助け合いの輪が広がっています。

なかなか言えない「助けてほしい」「手を貸してほしい」という言葉。でも勇気を出せば必ず誰かが助けてくれます。

「助けてもらってありがとう」そんな感謝の想いをつづってみませんか。

主催 助け合い推進会議

後援 須坂市・須坂市教育委員会・信濃毎日新聞社・須坂新聞社

須高ケーブルテレビ株式会社 事務局 社会福祉法人須坂市社会福祉協議会

■応募資格

問いません

■応募方法等

- ・A4版用紙に800×1,000字程度で2枚以内程度。
- ・表紙に題名、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、年齢、職業を明記してください。
- ・本人が体験したこと、身近に起きたことなどで未発表のものに限ります。
- ・応募は1名1点のみです。
- ・応募作品は、無断での第三者の個人情報、権利、利益を侵害するものではないものに限ります。
- ・入賞作品の著作権は主催者に属します。
- ・入賞作品は広く広報していきます。匿名などの希望には対応いたしません。
- ・必要に応じ、聞き取りによる作品も可能です。ご相談ください。

■応募先

助け合い推進会議

助けられ大賞事務局

(須坂市社会福祉協議会内)

〒382-0074

須坂市春木町476-1

電話 245-11619

FAX 246-00054

E-mail

cooro@suzaka-shakyo.jp

■選考方法

本事業選考委員会にて選考

■選考基準

助けられた体験の内容、伝えている考え方や意見における、助け合いのまちづくりを推進していくメッセージ性を選考基準とします。

■締め切り

作品は、郵送またはメールで

平成22年10月31日

〈消印有効〉

■発表

結果は、助け合い推進

大会(H23・2・19開催

予定)において発表・表彰

する他、本会ホームページ、社協広報誌に掲載

します。

■受賞作品については、『助けられ』を心温まる体験談として事例集を作成します。

■賞および賞品

●助けられ大賞 1編

(賞状 副賞5万円相当須坂市特産物詰め合わせ)

●助け合い推進会議会長賞 1編

(賞状 副賞3万円相当須坂市特産物詰め合わせ)

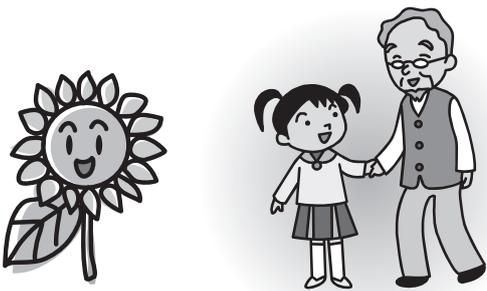
●須坂市社会福祉協議会会長賞 1編

(賞状 副賞2万円相当須坂市特産物詰め合わせ)

■昨年の受賞作品より～

我が家には障がいを持つ孫がいます。母親の「どんなに障がいが重くても、施設と家の往復だけではなく、いろいろな経験をし、世界を広げてやりたい。」という思いから、施設まで一人で通っています。その孫が一人ではできないこと、また家族だけでは支えきれないことを、たくさんの皆さんの力を借りて生き生きと生活できていることに感謝しています。

毎朝、私は孫に、孫は地域の方に助けられて本当に幸せです。



須坂市赤十字奉仕団 「一日赤十字」開催

7月3日須坂市赤十字奉仕団の研修「一日赤十字」を日滝小学校で開催しました。当日は175名が、炊出し訓練、事故や災害時での対応（AEDのデモンストラーション）、地域の防災力向上について学びました。講習の中で、災害を想定した設問に自分自身ならどう行動するか？一人ひとりが考え、また集まった皆さんとの意見交換を行いながら、イザという時の対応について、改めて考えさせられる研修会となりました。



グループに分れ意見交換をしました

最後に出来上がった非常食を試食しました。

赤十字講習会

幼児安全法を実施

育児サポートボランティア「ひまわりの会」が中心となり、こどもに起こりやすい病気への対応と、事故の予防や応急手当の方法を23名の参加者が学びました。



若いお母さん、お父さんが熱心に受講しました

日赤須坂市地区では救急法等の講習会を各地域・団体などに広く普及推進します。（二ヶ月前までに申込み下さい。）また、炊き出し訓練のための「非常食訓練」にも対応していますので、支部活動の一つとしてご活用ください。

第2回

災害ボランティア講座を開催します。

5回シリーズの第2回目を開催いたします。

日時 8月22日（日）

午前9時～正午

内容 救急法基礎講座を学ぼう

場所 仁礼コミュニティセンター会議室（湯つ蔵んど隣）

今回はイザという時の「救急法」（心肺蘇生法・AED）について学びます。興味のある方は左記までご連絡ください。

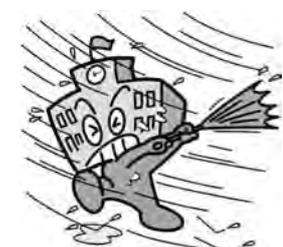
電話 245-11619



7月は全国各地で大雨による被害が発生しました。そこで、水害発生時の車両の被害を最小限に抑えるいくつかの留意点について紹介します。

冠水道路を走行する場合

① 走行できる目安はマフラーに水がかからない程度です。（マフラーに水が入るとエンジンが停止します。）



- ② 水の中に入ってしまった場合アクセルは一定に保たないように、排気の勢いである程度水の浸入を抑えられる。
 - ③ スピードは控える。（エンジンルーム内に波が立ち、電気系統等に水がかぶり、エンジンが停止してしまう。）
- 駐車中に水に浸かってしまった。**
- ① エンジンは絶対に動かさない。（シンダー等が破損し修理が難しい。）
 - ② ショート等を防ぐ為に、バッテリーを外してください。
- いづれどこで起こるかかわからない災害に対する備えは心がけておきましょう。

各種募金の、ご協力 ありがとうございました。

社協会費
誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進める為に、活用させていただきます。

日赤社資募集
国内外の災害での救援救護や、地域の奉仕団育成のために、活用させていただきます。

社会を明るくする運動募金
非行や犯罪のない明るい社会を築く、保護司活動のために、活用させていただきます。

募集にあたり、ご協力いただきました区長様をはじめ役員の皆様にも厚く御礼申し上げます。





認知症なんて怖くない！ NO.3

～正しい知識で認知症と向き合おう～

誰も皆、元気でいたいと願っていますが、年を重ねることでリスクが生じるのは避けようのないことです。できるだけ毎日の生活の中で、工夫しながら予防に努めて行きましょう。

注意が必要な変化

～自己チェックしてみましょう～

- 何度も同じことを尋ねたり、言ったりする
- よく知っている人の名前を覚えていない
- 住所や電話番号を覚えていない
- 周りの状況、物事の善悪などの理解や判断ができない
- 計算やお金の勘定ができない
- 日付「今日は何月何日か」がわからない
- 場所の見当がつかなくなったり、道に迷ったりする
- 簡単な事柄や質問の意味が解らない
- 普通に会話ができない「話が通じない」
- 好きだったことをやらなくなった

※適切な医療機関に関する相談窓口としては、市の高齢者福祉課、包括支援センター、長野保健福祉事務所などがあります。

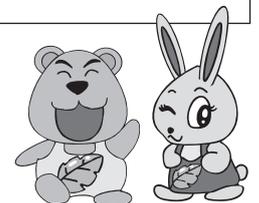
認知症への対応法

- 1 間違いを正したり否定はしない・・・叱られた原因は理解できないが屈辱感が残る
- 2 場面を変える・・・相手の言い分を受け止め、温かい飲み物などを勧める
- 3 相手に合わせる・・・感じている状況を認め、合わせる
- 4 自尊心を傷つけない・・・「いけません」「駄目じゃないの」は禁句
- 5 わかる言葉で、納得いくように話す・・・「朝です。おはようございます」など
- 6 近くでゆっくり話す・・・他のことに気をとられないですむ
- 7 過去の話につきあう
- 8 トイレや危険な場所を文字やシンボルマークで伝える

～人の手のぬくもりが認知症の進行を遅らせます～

次回は事例を通して地域との繋がり的重要性をお話します。

参考文献：認知症の知りたいことガイドブック 中央法規出版



社協情報掲示板

平成22年8月1日第29号(毎月1回1日発行)

発行人 社会福祉法人須坂市社会福祉協議会 長野県須坂市大字須坂4-7-6-1 ☎026(245)1619 FAX2460054 印刷 佐藤印刷株式会社

ホッパ



● あたたかなご厚志に ●
● 感謝いたします。 ●

- 匿名様 古切手多数
- 東豊同郷会様 44,958円
- 東横町婦人会様 プルタブ他多数
- 匿名様 未使用切手・カード多数

…6月15日～7月14日 受付分です…

今月の四字熟語

竹馬之友【ちくばのとも】

幼年時代に竹馬で遊び合った仲のよい友人。幼児からの親しい友。



先日社協へ
ご質問をいただきました。

Q 送迎の際に車のエンジンを切らずアイドリング状態で利用者を乗降させたりしていますが、もし急に車が動き出してしまったら、安全面では大丈夫なんでしょうか？
また、10分近くもエンジンを掛けていると、音や排気ガスも気になります。

「地球温暖化防止、CO2削減、アイドリングストップ」の活動を無視する行為で非常に問題だと思います。

A 社協ではデイサービス事業、福祉移送サービス事業で送迎を実施しています。送迎車両の排気ガスやエンジン音で、ご近所にご迷惑をおかけして申し訳ありません。利用者宅への送迎は、一層すみやかに行うよう心がけます。

駐車時の安全面に関しては、重要な事ですので、駐車場所が傾面の場合は、車両が移動しない様十分注意をしたいと思います。

アイドリングについては、利用者の方の健康状態を考え、時期により冷房や暖房運転をしており、エンジンは動いた状況のままになる場合があります。今後、極力アイドリングストップの意識をもって、送迎サービスに努めてまいりたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。

日常生活の悩み・法律に関する 心配ごと相談所

① 日常的な悩み・心配ごとの相談

相談会場	相談日	相談時間
須坂市社会福祉協議会 来所・専用電話相談 248-9977	月曜日～金曜日	午前9時～午後4時 (随時)
中央公民館 1階相談室 (常盤町747-2)	第2・4木曜日 12日・26日	午前9時～12時 (随時)

② 法律に関する相談(無料・完全予約制)

相談会場	相談日	相談時間
中央公民館 1階相談室 (常盤町747-2)	第2・4木曜日 12日・26日	午後1時～4時 (予約制)

※弁護士がご相談に応じます。お一人20分以内です。

※完全予約制 電話 248-9977または245-1619

ご意見ご要望をお寄せ下さい。☎(026-245-1619)・FAX(026-246-0054)・
メールアドレス(cocoro@suzaka-shakyo.jp)・ホームページURL(http://www.suzaka-shakyo.jp)